

平成31年度 北区組織目標

組織名	北区	区長	北区長 若杉 俊則
組織の目的・方向性	<p>北区の最大の課題は、転出など社会的要因による人口減少にあります。北区が未来に向けて引き続き発展するために、「北区区ビジョンまちづくり計画」に基づき、「北区に住み続けたい」「北区に戻ってきたい」「北区に住んでみたい」と思える魅力あるまちづくりを進めます。</p>		

北区組織目標

「住みたくなるまち 北区」「暮らしやすさで選ばれるまち」を目指し、北区は今年度、地域課題の解決に向けた次の3つの取組みを重点的に実施します。

〈重点目標〉

1. 魅力ある農業の確立と地域産業活性化による雇用の拡大に取り組みます。
 - (1) 官民一体となった海岸保安林の保全活動を推進します。
 - (2) 農業分野へのICT技術の導入や、担い手の確保を推進します。
 - (3) 新たな工業用地の確保に向け、関係者と取組みを進めます。

2. 暮らしやすさの向上に向け、子育て支援、高齢者福祉などに対する地域との協働の取組みを推進します。
 - (1) 妊娠から出産後までの切れ目ない子育て支援とともに、地域で子育てを支えあう取組みを実施します。
 - (2) 介護予防や認知症の早期発見、特定検診の受診等、健康で暮らせるまちづくりに向けた取組みを実施します。

3. 北区の魅力を高める、自然、農産品、伝統文化、スポーツ活動など特長を活かした取組みを推進します。
 - (1) 商品、コンテンツの開発、PR活動を行い、地域商業の魅力の創出とイメージアップを図ります。
 - (2) 郷土芸能をはじめとする文化、スポーツ活動を通じて、賑わいの創出や魅力の発信に取り組みます。

評価

	重点目標の達成状況	目標数	22	達成数	15
取組結果	<p>○ 魅力ある農業の確立と地域産業活性化による雇用の拡大への取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海岸保安林である海辺の森について、住民と協働し下草刈りや樹木の管理などを実施しました。 ・また、「しるきーも」については、8品の商品開発がなされ、昨年度同様、新潟伊勢丹の「NIIGATA 越品」コーナーで販売しました。 ・北区の施設園芸（トマト）へのICT導入では、北区のトマト全農家にアンケート調査を実施し、事業展開に向けた方策を検討しました。 ・新規就農希望者の就農相談については、やや目標を下回りましたが、6件の相談があり、就農コーディネートや就農計画作成支援など、積極的に事業展開しました。 ・新たな工業用地の確保については、濁川地区の新たな工業団地整備に向け、業務代行者から提出された資料の確認、農政局との個別協議が終了し、令和2年7月中旬に市街化編入が確実なものとなりました。 				
	<p>○ 暮らしやすさの向上に向けた、子育て支援、高齢者福祉などへの地域との協働の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デマンド交通については、地域団体による運営に移行し、身近な生活交通としてスタートを切りましたが、乗合い率が向上した半面、利用者が減少しました。 ・地域との協働で行うボランティア清掃への支援については、未実施地域への広報に力を入れたことで目標を上回る成果を上げることができました。 ・介護予防に関する健康講座の開催については、61回開催し、1,101人の参加がありました。 ・世代間交流による子育ての支え合いについては、「子育て応援カフェ」を開催し、保護者延べ62人、子ども延べ91人が参加しました。 ・妊娠期からの子育て支援体制の構築については、特定妊婦検討会を開催するとともに、主任児童委員、助産師との情報交換、訪問や電話による状況把握を行いました。 				
	<p>○ 北区の魅力を高める、自然、農産品、伝統文化、スポーツ活動など特長を活かした取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域商業魅力創生プロジェクトを通じ、松浜地区では味噌作り体験、こらっせ松浜市の開催や多世代交流による郷土料理教室などを実施しました。 ・また、葛塚地区においては、豊栄駅前通商店街での似顔絵に関するイベントの開催を行い、にぎわいの創出を行いました。 ・博物館では美術企画展、ふるさと学習に対応したシリーズ展「昭和の暮らし展4」などを開催するとともに、「博物館まつり」において、郷土芸能発表会、新しい試みとして高校書道部によるパフォーマンスを催行したことなどにより、昨年度よりも2.5倍の1,020人の来館者がありました。 ・北区スポーツ協会等と連携し、区民が気軽に参加して健康増進につながる取組みを進めるとともに、北区文化会館では、指定管理者と連携し様々な演目を提供し、利用促進を図りました。 				

- 魅力ある農業の確立と地域産業活性化による雇用の拡大への取組み
 - ・地域主体で行われる海辺の森の保全活動などを引続き支援し、地域、大学、企業など多様な連携により行われる環境整備やコミュニティビジネスをサポートします。
 - ・「しるきーも」やトマト等農産物のブランド化、農作業の省力化に向けたICT導入に向けた取組みなど、次世代農業への取組みを引続き支援します。
 - ・工業団地整備については、今後も地域に対し、開発の進捗状況などについて情報提供を行い、勉強会などの開催を継続していきます。

- 暮らしやすさの向上に向けた、子育て支援、高齢者福祉などへの地域との協働の取組み
 - ・介護予防に関する健康講座を継続して開催し、特定健診の受診率の更なる向上と併せて、区民の介護予防意識の啓発を図ります。
 - ・もの忘れ検診を継続して実施し、認知症予防講座と併せて、認知症予防に対する区民の意識啓発に努めます。
 - ・また、地域における支え合いによる子育て環境の確立と、乳幼児期から切れ目のない子育て支援を目指し、継続して取り組みます。

- 北区の魅力を高める、自然、農産品、伝統文化、スポーツ活動など特長を活かした取組み
 - ・地域商業活性化促進への取り組みとしては、これまでの事業を継続し、賑わい創出のテーマに沿った様々な活動を支援していきます。
 - ・スポーツ活動については、引き続き北区スポーツ協会等と連携し、より多くの区民の積極的な参加を促し、スポーツへの親しみと健康増進につながるよう取組みを進めます。
 - ・文化・芸術活動については、北区文化会館や水の駅「ビュー福島潟」等と連携し、施設の魅力をわかりやすく発信し、来訪者の増加を図り、賑わいの創出を図るとともに、郷土の歴史や郷土芸能の伝承も支援していきます。